SONY

パーソナルコンピューター

VPCW11 シリーズ
取扱説明書

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

取扱説明書（本書）

バイオを使えるようにするための準備や、Windowsが起動していないときの操作、トラブルの解決法、サポート情報などを記載しています。

VAIO 電子マニュアル

知りたいこと・わからないことを調べる

取扱説明書（本書）に記載している情報のほか、さらに詳しい情報も記載しています。

見るには

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO 電子マニュアル（PDF版）]をクリックする。

重要なお知らせ

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[重要なお知らせ]をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの[ヘルプ]メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

VPCW11 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご確認ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。お客様の選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。

このマニュアルで表記されている名称について

- 搭載モデル
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「地上デジタルチューナー搭載モデル」と書かれているときは、地上デジタルチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- 付属モデル
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- プリインストールモデル
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO 電子マニュアル（PDF版）]をクリック！

本機をセットアップする

「VAIO 電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO 電子マニュアル(PDF版)]をクリック!

インターネット/メール

バックアップ/リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

注意事項

安全規制について

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)
ただし、バッテリ未搭載でAC アダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLAN カード／Bluetooth カードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLAN カード／Bluetooth カードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLAN カード／Bluetooth カードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電源の遮断について

ACアダプタは、コンセントの近くでお使い下さい。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き電源を遮断して下さい。

バッテリについて

間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。
使用済の電池は、取扱説明書に従って処分してください。

持ち運び時の注意について

本機持ち運び時における故障や発火の危険を防ぐため、持ち運び時にはバッテリを取り付けてください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

2.4DS/OF4

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC

ホームページ：

http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「VAIO 電子マニュアル」の「使用済みコンピュータの回収について」をご覧ください。

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

この説明書は、本文に古紙70%以上の再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ画面等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

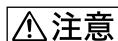
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

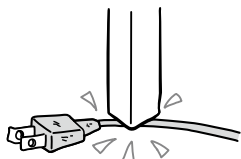
行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずしてください。

内部をむやみに開けない

本機および付属の機器(ケーブルを含む)は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、ネットワーク(LAN)ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

指示

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。なお、ACアダプタと電源コードは対応する入力電圧が異なる場合があります。ACアダプタ・電源コードの記載をご確認ください。
  本機は国内専用です。海外で使用することを動作保証するものではありません。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- 本機のワイヤレス機能は国内専用です。
  海外で使うと罰せられることがあります。

LANコネクタに指定以外のネットワーク（LAN）や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに次のネットワーク（LAN）や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク（LAN）
- 一般電話回線
- ISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX（デジタル式構内交換機）回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

禁止

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

禁止

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

禁止

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。
万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

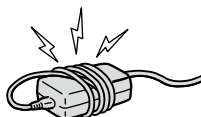
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。
また、衣類の上からでも長時間ふれたままになっていると、低温やけどになる可能性があります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

重いものを載せる、落とす、本機の上に乗るなど、無理な力が加わると、けがや故障の原因となることがあります。

幼児の手の届かないところに置く

"メモリースティック"などを誤って飲み込んだり、ケーブルを首に巻きつけたりすると、事故やけが、故障の原因となります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリをご使用ください。
- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 以下のバッテリを使用した場合、本機、バッテリまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリ以外のバッテリを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。
- 性能が低下したバッテリを使わない。
  バッテリ駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリと交換してください。

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

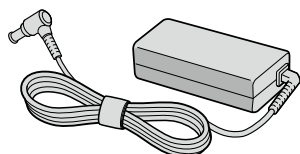
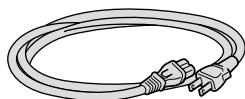
準備1

付属品を確かめる

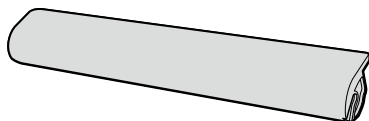
付属品が足りないときや破損しているときは、商品が入っていた箱を捨てる前にVAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

- ❑ ACアダプタ

- ❑ 電源コード

！ご注意

付属の電源コードは、AC100V用です。

- ❑ バッテリ

説明書・その他

❑ 取扱説明書（本書）

❑ 主な仕様と付属ソフトウェア

❑ 保証書

修理の際に必要になります。

❑ VAIOカルテ

修理の際に必要になります。

❑ Microsoft® Office Personal 2007*プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007*プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属）

❑ Microsoft® Office Personal 2007* 2年間ライセンス版プレインストールパッケージ

（「Office Personal 2007 2年間ライセンス版」プリインストールモデルに付属）

* この説明書では以降、Office Personal 2007、Office PowerPoint 2007と略します。

❑ その他・パンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

ヒント
- 本機に付属のソフトウェアについては、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは「リカバリする」（40ページ）をご覧ください。

お買い上げ時に「Microsoft Office」を選択されたお客様へ

本機を修理に出された場合、修理内容によってはリカバリを行ってから本機をご返却することがあります。その場合、「Microsoft Office」がインストールされていない状態でのご返却になります。

「Microsoft Office」をご使用になる場合は、付属の「Microsoft Office」インストールディスクを使用してご自身でインストールを行ってください。

準備2

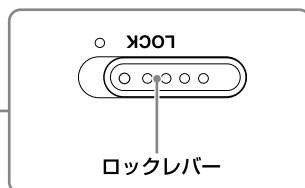
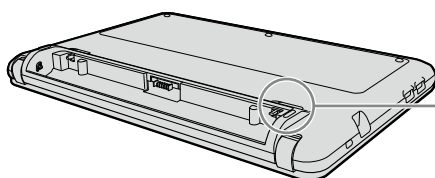
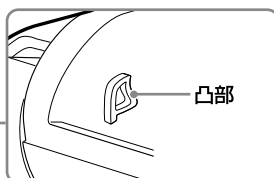
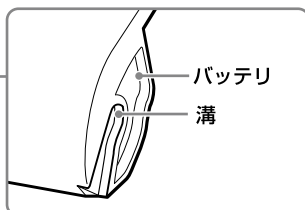
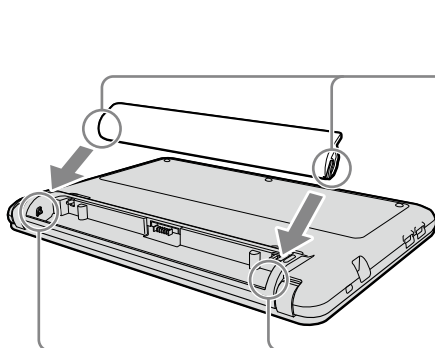
接続する

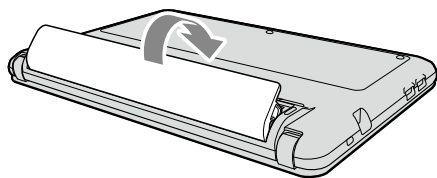
バッテリを取り付ける

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。
あらかじめ「バッテリについてのご注意」（65ページ）をご覧ください。

バッテリは、以下の手順で本体後面のバッテリ取り付け部に取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 本体底面のロックレバーを外側（LOCKと反対側）にずらす。

3 バッテリ取り付け部両端の凸部とバッテリ両端の溝をあわせる。

バッテリを矢印の方向に回転させながら倒す。

正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。

5 ロックレバーを内側（LOCK側）にずらして、バッテリを固定する。

！ご注意

必ず本体底面のロックレバーをLOCKにした状態で本機をお使いください。

インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、ISDN回線を利用する方法があります。
インターネットについて詳しくは、「インターネットを始める」（30ページ）をご覧ください。

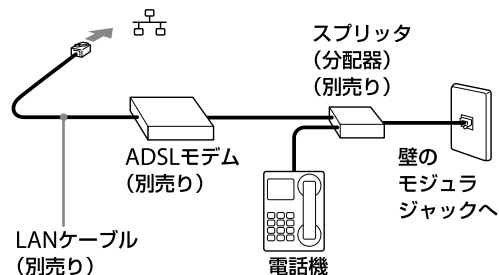
！ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ヒント

ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合は、「Windowsを準備する」（26ページ）の手順に従ってWindowsのセットアップを行った後に、ワイヤレスLANの設定を行ってください。
詳しくは、「ワイヤレスLANで通信する」（32ページ）をご覧ください。

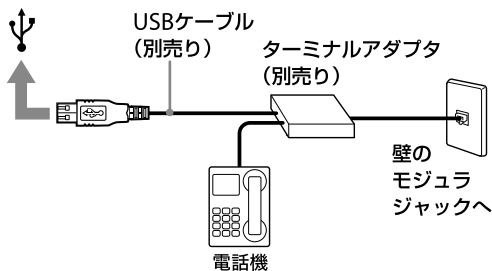
ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは、本体右側面のLANコネクタに接続します。

*　ADSLの接続例

！ご注意

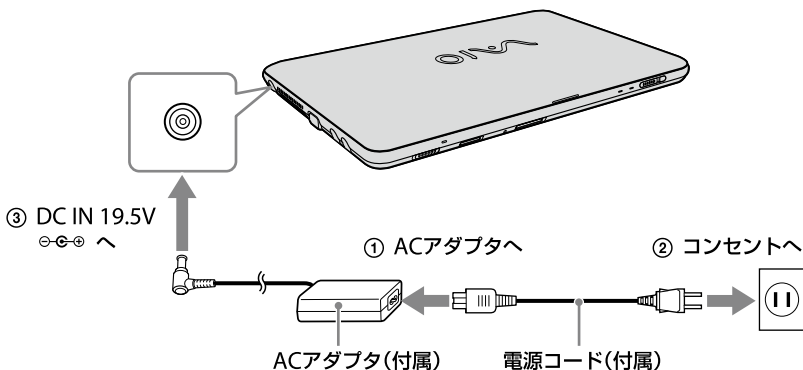
LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本体右側面の(USB)コネクタに接続します。

!ご注意

接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

電源コードを接続する

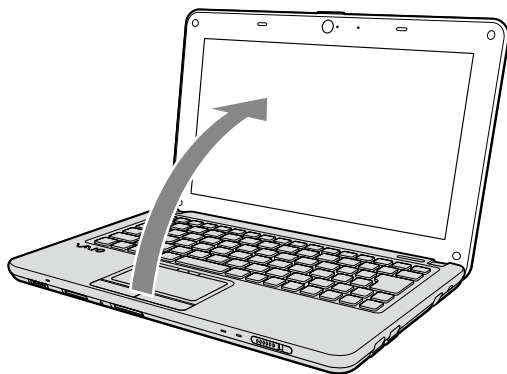
本機と壁のACコンセントを接続します。

1 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

2 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

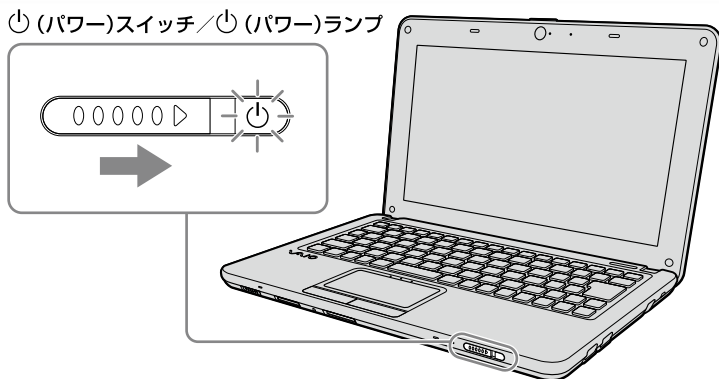
3 ACアダプタのプラグを、本体左側面のDC IN 19.5V コネクタに差し込む。

準備3

電源を入れる

1 ディスプレイパネルを開く。

!ご注意

ディスプレイパネルを開くときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）部分は持たないでください。故障の原因となります。

2 ⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）にずらし、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら指を放す。

本機の電源が入り、しばらくして「MicrosoftWindowsへようこそ」画面が表示されます。「Windowsを準備する」（26ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

！ご注意

- ⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにすると、電源が入りません。
- ディスプレイパネルを閉じた状態で⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)にずらしても電源は入りません。
- 本機の液晶ディスプレイ左上面には磁気を帯びた部品が使用されているため、フロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本機のWIRELESSランプ付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、休止状態(お買い上げ時の設定)に移行します。本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

省電力動作モードについて

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ[*1])。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)スイッチ[*2]を右側(▷の方向)に一瞬ずらすと、元の状態に戻ります。

また、バッテリでご使用中は、スタンバイへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります(休止状態[*1])。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に一瞬ずらしてください。

*1　詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

*2　⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにすると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗くした状態で使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスタンバイや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
  詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備をしましょう。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。

1 電源を入れる。

⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)にずらし(24ページ)、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまで待ちます。しばらく時間がかかりますが、電源を切らずにそのままお待ちください。

!ご注意
途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

2 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面の指示に従ってWindowsの初期設定をする。

表示される内容をよく読んで設定してください。

ヒント
- 選択肢を選ぶときは、選択肢の前にある ◯ をクリックして ◉ にします。
- 次の設定へ進むには ➡ (次へ)をクリックします。
- 「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示された場合は、▷▷ (省略)をクリックしてください。
- 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されたときは、[いいえ、今回はユーザー登録しません]を選択して次の画面に進んでください。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(28ページ)をご覧ください。

!ご注意
本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。
また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承下さい。

セットアップが終わったら

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクを作成してください。

パーティションを操作するソフトウェアを使用したり、お買い上げ時以外のOSをインストールしたりすると、リカバリ領域からリカバリできなくなることがあります。そのような場合に備え、リカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクの作成について詳しくは、「リカバリディスクを作成する」(37ページ)をご覧ください。

❑ Windows Updateを実行してください。

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
([スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[Windows Update]をクリックする。)

本機をお使いになる際のご注意

機器の底面や排気口付近は熱くなります。
低温やけどの原因となることがあるため、長時間これらの部分に触れないでください。

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 [スタート]ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 [終了オプション]をクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

3 [電源を切る]をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)にずらすとスタンバイに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま(お買い上げ時の設定)、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「スタンバイ/休止状態にする」をご覧ください。

画面で見るマニュアルの使いかた

「VAIO 電子マニュアル」には、本書よりも詳しい情報を紹介しています。やりたいことがあるけれど、何をどうすればいいのかわからない場合や、トラブルの解決方法を調べる場合などは、「VAIO 電子マニュアル」をご利用ください。
「VAIO 電子マニュアル」は本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

VAIO 電子マニュアルを表示する

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO 電子マニュアル(PDF版)]をクリックする。

「Adobe Reader」ソフトウェアが起動し、「VAIO 電子マニュアル」が表示されます。

ヒント
「Adobe Reader」ソフトウェアをはじめて起動したときは、使用許諾契約書が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。

インターネットを始める

インターネットとは

インターネットは、電話回線などで結ばれたコンピュータ同士がネットワークで結ばれ、全世界のネットワークを相互に接続したものです。インターネットを利用することにより、ホームページを見たり電子メールをやり取りすることができます。

インターネットに接続するまでの流れ

手順1
接続する回線の種類を決める
「インターネット接続サービスの種類」を参考にして、接続する回線を決めます（31ページ）。

手順2
プロバイダと契約する
手順1で決めた回線のサービスを提供しているプロバイダを選び、契約します。契約が完了すると、プロバイダからインターネット接続に使用するマニュアルや資料、回線装置などが郵送されてきます。

手順3
回線装置などを接続・設定する
プロバイダから送られてきたマニュアルに従って、回線装置などを接続し、必要な設定をします。

!ご注意
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

手順4
（ワイヤレスLANを使用しない場合）
本機を接続する
「インターネット接続用機器につなぐ」をご覧になり、本機を接続します（22ページ）。

手順4
（ワイヤレスLANを使用する場合）
本機を設定する
「ワイヤレスLANで通信する」をご覧になり、ワイヤレスLANに必要な設定をします（32ページ）。

！ご注意
- はじめてインターネットに接続するときは、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

インターネット接続サービスの種類

インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

FTTH（光）

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいはFTTH（光）と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
FTTH（光）ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。
- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

インターネット接続に関するお問い合わせ

インターネット接続に関するお問い合わせ先は、お客様の知りたい内容によって異なります。

知りたい内容	お問い合わせ先
プロバイダ接続情報 （アカウント名、パスワード、DNSサーバなど）	プロバイダ
メール設定情報 （メールアドレス、メールアカウントなど）	プロバイダ
パソコン側の設定	VAIOカスタマーリンク

ワイヤレスLANで通信する

「インターネットに接続するまでの流れ」の手順3まで終了し（30ページ）、アクセスポイントの電源が入っていて動作している状態で行ってください。
設定について詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「LAN ／ワイヤレスLAN」と、Windowsのヘルプをご覧ください。

1 本体前面のWIRELESSスイッチを「ON」に合わせる。

ワイヤレス機能が有効になり、WIRELESSランプが点灯します。

2 ワイヤレス機能を選択する。

① デスクトップ画面右下の通知領域にある LAN 、B LAN または B などの「ワイヤレススイッチ」アイコンを右クリックし、[「ワイヤレス機能の選択」ダイアログを表示]を選んでクリックする。
「ワイヤレス機能の選択」画面が表示されます。

② ご使用になるワイヤレス機能のチェックボックスをクリックしてチェックし、[OK]をクリックする。
選択したワイヤレス機能が有効になります。

ヒント
2.4 GHzのワイヤレスLANのアクセスポイントと接続する場合は、「2.4 GHzワイヤレスLAN機能を利用する」にチェックしてください。

3 デスクトップ画面右下の通知領域の または アイコンをクリックする。

「ワイヤレスネットワーク接続」画面が表示されます。

4 ワイヤレスネットワークに接続する。

① 「ワイヤレスネットワークの選択」のリストから接続先のワイヤレスLANアクセスポイントを選び、[接続]をクリックする。
「ワイヤレスネットワークの選択」のリストに接続先のワイヤレスLANアクセスポイントが見つからない場合は、「ネットワークのタスク」の[ネットワークの一覧を最新の情報に更新]をクリックしてください。

② 必要に応じて「ネットワークキー」を入力し、[接続]をクリックする。

!ご注意

アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

接続されると、選択したワイヤレスLANアクセスポイントの欄に「接続済み」と表示されます。

接続先を新規に作る／切り替えるには

接続先を新規に作ったり、ワイヤレスLANで接続中に他のワイヤレスLANアクセスポイントに接続を切り替えることができます。
詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

1 [スタート]ボタンー[コントロールパネル]をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 [ネットワークとインターネット接続]アイコンをクリックする。

3 [ネットワーク接続]アイコンをクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

4 [ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。

5 [ワイヤレスネットワーク]タブをクリックする。

「優先ネットワーク」のリストが表示されます。

「優先ネットワーク」の[追加]をクリックする。

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面が表示されます。
以下の設定は、お使いになるアクセスポイントの設定にあわせてください。

7

「ネットワーク名(SSID)」を入力する。

8

「ネットワーク認証」と「データの暗号化」を設定する。

9

WPA-PSK、WPA2-PSKやWEPを選択した場合は、[キーは自動的に提供される]をクリックしてチェックをはずし、必要な場合は「ネットワークキー」を入力する。

10

[OK]をクリックする。

切り替え先のワイヤレスLANアクセスポイントに接続すると、接続されたメッセージが通知領域に表示されます。

ワイヤレスLANの通信を終了するには

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせます。
ワイヤレスLAN機能がオフになり、WIRELESSランプが消灯します。

!ご注意

WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせると、他のワイヤレス機能もすべて終了します。

インターネットのセキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、ファイルが勝手に消去されたり内容が改変されたり、保存していた個人情報がインターネットを通じて勝手に送信されるなど、さまざまな被害にあってしまいます。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアを設定して、定期的にウイルス定義ファイルを更新してください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」（26ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOサポートページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOサポートページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「マカフィー・PCセキュリティセンター」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOサポートページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティ専用窓口
電話番号：0120-70-8103（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、
（0466）30-3016（通話料お客様負担）

受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（年中無休）
年末年始は、土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入（下記参照）	

リカバリディスクのご提供について（有償）

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
* マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。

！ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスクの容量を確保したいときに使用します。
万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

ヒント
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いで、ご自分でリカバリディスクを作成される場合は、別売りの外付けドライブが必要です。

!ご注意
下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。

リカバリディスク作成についてのご注意

- リカバリディスクの作成中は、ディスクドライブのイジェクトボタンを押さないでください。ディスクの作成に失敗することがあります。
- リカバリディスクを作成するときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリツール]にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2 [リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

3 「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

ディスクの種類と必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」画面で確認できます。

!ご注意

- Blu-ray Disc、DVD+RW、DVD-RWまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

5 [次へ]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

6 [作成開始]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

ヒント

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

7 指示されたディスクをドライブに挿入し[OK]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意

- リカバリディスクの作成状況は、更新されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

8 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

!ご注意

ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

すべてのリカバリディスクを作成するまで手順7、8を繰り返します。
リカバリディスクの作成がすべて完了するとメッセージが表示されます。

9 [OK]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

Windowsからリカバリする

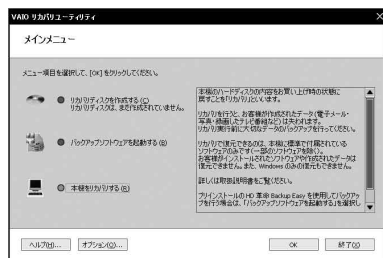
Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(42ページ)をご覧ください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリツール]にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント

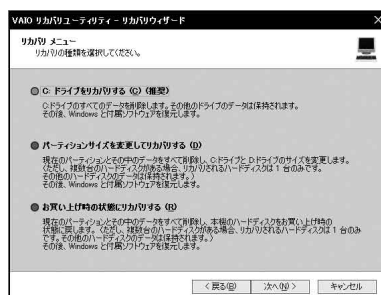
「リカバリ領域が削除されています」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(43ページ)をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

3 [はい]をクリックする。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

ヒント

リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

8 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら［OK］をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 ［再起動］をクリックする。

本機が再起動します。

！ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」（26ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

！ご注意

- Office Personal 2007、Office Personal 2007 with Office PowerPoint 2007またはOffice Personal 2007 2年間ライセンス版プリインストールモデルをお使いの場合は、以下の手順でOfficeをインストールします。
- Officeをインストールするには、別売りの外付けドライブが必要です。

① Office Personal 2007 CDをドライブに入れる。

② 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、［ユーザー設定］をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。

③ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから［マイ コンピュータからすべて実行］をクリックする。

④ ［今すぐインストールする］をクリックする。
インストールが開始されます。

⑤ インストールが完了したら、［閉じる］をクリックする。

⑥ Office Personal 2007 with Office PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の［OK］をクリックする。
引き続き、画面の指示に従いOffice PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、左記の手順②から⑤と同じ手順でインストールしてください。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。
また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。（37ページ）

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Get Default Values]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

4 [Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

5 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ヒント

リカバリディスクでも「リカバリウィザード」を起動させることができます。

ディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、まず手順1 ～ 3を行い、ドライブ側面のイジェクトボタンを押してドライブにリカバリディスクを入れてください。そのあとに手順4を行ってください。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、まず別売りの外付けドライブを本機に接続してから手順1 ～ 3を行い、ドライブにリカバリディスクを入れてください。そのあとに手順4を行い、VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを押してください。

！ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、手順1からやり直してください。
何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」（43ページ）をご覧ください。

6 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

7 「Windowsからリカバリする」（40ページ）の手順4以降の操作を行う。

本機をお買い上げ時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

!ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったデータは、すべて消えてしまいます。お買い上げ時状態に戻す前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

1 ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、ドライブを取り付ける。

ディスクドライブ搭載モデルをお使いの場合は、手順2へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

3 [スタート]ボタンー[終了オプション]をクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

4 30秒ほど待ってから本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます（起動には数分かかる場合があります）。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、VAIOのロゴマークが表示されたらF11キーを押してください。再びVAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動します。

!ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は手順2からやり直してください。

5 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

6 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

7 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

8 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

9 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。
リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

10 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

11 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。
リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント
リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

12 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

13 「Windowsからリカバリする」(40ページ)の手順9以降の操作を行う。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（48ページ）

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「VAIO 電子マニュアル」からも調べられます。

2 電子マニュアルを調べる

取扱説明書（本書）より詳しい情報が掲載されている「VAIO電子マニュアル」をご覧ください。（57ページ）

見るには
［スタート］ボタンをクリックして、［すべてのプログラム］にポインタをあわせ、［VAIO 電子マニュアル（PDF版）］をクリックしてください。

「ヘルプとサポート センター」をご覧ください。（57ページ）

「ヘルプとサポート センターを見る」（57ページ）をご覧ください。

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（57ページ）

！ご注意

本マニュアルの「サービス・サポート」の記載内容は、2009年1月時点での情報（予定を含む）です。
内容は予告なく変更・終了する場合があります。ご了承ください。

3 VAIOサポートページで調べる

「VAIO 電子マニュアル」の「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOサポートページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1 〜 3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。

❑ VAIOの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOに関する使いかたなどのお問い合わせは、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」で承ります。
電話番号や営業時間など詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「電話で問い合わせる」をご覧ください。

❑ ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、「VAIO 電子マニュアル」の「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先にお問い合わせください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

電源／起動

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。（21ページ）

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（23ページ）

A バッテリの残量がまったく無い可能性があります。
バッテリの充電については「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。
ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）スイッチが効かない。（充電ランプがすばやく点滅している）

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（21ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）スイッチが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

1. 本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
2. 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
  「コンピュータの電源を切る」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上の[電源を切る]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows XPは、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

A 「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「Windows タスク マネージャ」画面を表示させ、「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
- 本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。

本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。(21ページ)

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。

システムに異常があります。本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずし、純正の新しいバッテリと交換してください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」 や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System Not Found」と表示される場合は、USB機器の接続状態について確認してください。

- USB接続のフロッピーディスクドライブやCD ／ DVDドライブに、起動ディスク以外のディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。
- ハードディスクドライブまたはフラッシュメモリーなどの起動可能なUSB機器が接続されている場合は、いったんUSB機器を取りはずしてから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。
パーティションサイズの変更については、「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。

A パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。
本機の⏻(パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらしたままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、(Num Lock)ランプや(Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Fnキーを押しながらNum Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

Q 電源を入れてもWindowsが起動しない。

A 「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(42ページ)の手順に従って操作してください。

Q 充電ランプの表示について知りたい。

A バッテリの動作状態により、充電ランプの表示が異なります。
詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「バッテリの充電／表示の見かた」をご覧ください。

パスワード

Q Windows XPのユーザー アカウントのパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーが作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザーが作成されていない場合、Windowsをセーフモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンし、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更することが可能です。

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。
Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スタンバイ）。

キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に一瞬ずらすと、元の状態に戻ります。

また、バッテリでご使用中は、スタンバイへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に一瞬ずらしてください。

ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらしたままにし、⏻（パワー）ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

Q 画面が固まって、ポインタやウィンドウなどすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② 「Windows タスク マネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）にずらして、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらして電源を切ってください。電源が切れると⏻（パワー）ランプが消灯します。⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻（パワー）スイッチを右側（▷の方向）に4秒以上ずらして電源を切ってください。

！ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

文字入力／キーボード

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
点灯している場合は、Fnキーを押しながらNum Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。

タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「タッチパッドの応用操作」をご覧ください。

設定を変更してもタッチパッドが有効にならない場合は、本機を再起動してください。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押して、「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから、↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻ (パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながらDeleteキーを押して、「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながらUキーを押してから、↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]を選び、Enterキーを押す。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻ (パワー)スイッチを右側(▷の方向)に4秒以上ずらして電源を切ってください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。（40ページ）

インターネット

Q インターネットに接続できない。

A プロバイダとの契約を確認してください。
インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります。

A 機器の接続や設定を確認してください。
契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。
本機とLANケーブルの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」（22ページ）をご覧ください。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「よくあるトラブルと解決方法：インターネット接続」をご覧ください。

Q ワイヤレスLANが使えない。

A 詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「よくあるトラブルと解決方法：LAN ／ワイヤレスLAN」をご覧ください。

VAIO内の情報を調べる

「VAIO 電子マニュアル」を見る

基本的な使いかたやよくあるトラブルの解決方法などが記載されています。
「VAIO 電子マニュアル」を起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO 電子マニュアル(PDF版)]をクリックします。

ヘルプとサポートセンターを見る

[スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]をクリックすると、「ヘルプとサポートセンター」が表示されます。
ヘルプとサポートセンターでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

ヒント

ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピューターの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りに伺い、修理完了後にお届けします。詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「修理を依頼されるときは」をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

その他のサービスとサポート

VAIOサポートページで調べる

VAIOサポートページなどについて詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「VAIOサポートページで調べる」をご覧ください。

電話で問い合わせる

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「電話で問い合わせる」をご覧ください。

「使い方相談」のサポートに関するお知らせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」では、VAIOに関する技術的なお問い合わせを電話で承っております。

「使い方相談窓口」のサポート体制について

VAIOカスタマー登録がお済みのお客様に、VAIOご購入日から1年間は、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートを無料でご提供しております。
また、それ以外のお客様（登録がお済みでないお客様や、ご登録がお済みでVAIOご購入日から2年目以降のお客様）には、使いかたの相談や技術的なお問い合わせのサポートをご利用いただける「VAIOサポートチケット」（有料）をご用意しております。
なお、VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」のフリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。

！ご注意

- VAIOご購入日とは、VAIO本体に付属の保証書に記載されている「お買上げ日」となります。VAIOカスタマー登録の際にご入力ください。
- VAIOコールバック予約サービスも上記のサポート体制に含まれます。
- サポート対象製品は、VAIO本体、VAIO本体に付属のOSおよびソニー製ソフトウェア、一部のVAIOアクセサリーです。
- 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからは、フリーダイヤルはご利用いただけません。

		「使い方相談窓口」フリーダイヤルご利用	「使い方相談窓口」無料サポート
VAIO購入後1年間	カスタマー登録あり	○	○
	カスタマー登録なし	×	×
VAIO購入後2年目以降	カスタマー登録あり	○	×
	カスタマー登録なし	×	×

❑ VAIOサポートチケットについて

チケット料金

- 1回チケット　2,100円（税込）
- 3回チケット　5,250円（税込）

  ※チケット有効期間は、チケット購入日から1年間です。

  ※使い方相談の1案件につき、1回とカウントさせていただきます。1度のお電話のお問い合わせでも、異なる複数のご質問をいただいた場合は、ご質問数のチケットが必要となります。

チケット購入方法

- クレジットカードでのお支払いとなります。
  お電話でお問い合わせいただいた際に、音声ガイダンスに従って、クレジットカード番号と有効期限を入力していただきます。

  ※ご利用いただけるカード会社は、VISA ／ MasterCard ／ JCB ／ AMERICAN EXPRESS ／ダイナースです。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。
VAIOサポートページ「使い方相談サポートご利用規約」
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/call/terms.html

メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「メールで問い合わせる／ FAXで取り寄せる」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

詳しくは、下記のホームページまたは「VAIO 電子マニュアル」の「修理を依頼されるときは」をご覧ください。
VAIOサポートページ「修理ご相談」
http://vcl.vaio.sony.co.jp/contact/repair/

VAIOカスタマーリンク「修理相談窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）
（ロクゼロ　ゴーゴーキュウキュウ）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間：平日：9時～ 20時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

VAIOオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「その他のサービスとサポート」をご覧ください。

各種有料サービスのご案内

詳しくは、「VAIO 電子マニュアル」の「その他のサービスとサポート」をご覧ください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。「VAIO 電子マニュアル」の「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」をご覧になり、各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

i-フィルター 5.0(30日期間限定版)のお問い合わせ先

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター

電話番号：月曜～金曜：(03) 3580-5678

土曜、日曜、祝日：(0570) 00-1334

(デジタルアーツ株式会社指定休業日を除く)

受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時

土曜、日曜、祝日：10時～ 20時

(デジタルアーツ株式会社指定休業日を除く)

ホームページ：

よくある質問：http://www.daj.jp/faq/

ユーザーサポートお問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/

ヒント

本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。

付属のソフトウェアを確認するには、付属の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または[スタート]ボタン－[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

！ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。本機の故障の原因となります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

使用に適さない場所について

次のような場所で本機を使用すると故障の原因となることがあります。

- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所。
- 振動する場所や不安定な場所。
- ほこり、湿気の多い場所。
- 風通しが悪い場所。
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です）。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えないでください。液晶ディスプレイに汚れや傷が付くことがあります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。
全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記憶ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- お買上げ時に搭載されているハードディスクは取りはずさないでください。

また、万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップをとることをおすすめします。
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。詳細については、http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.htmlをご覧下さい。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯のワイヤレスLAN機能と5 GHz帯のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gおよびIEEE 802.11n（2.4 GHz）は、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- 高温時、低温時は、安全のために充電を停止することがあります。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの放電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、バッテリ駆動時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。

バッテリの駆動時間について

バッテリの駆動時間は、使用状況および設定等により変動します。

バッテリの性能低下と交換について

バッテリは、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が低下していきます。このため、充分に充電を行ってもバッテリ駆動時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。
バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、バッテリ寿命を確認し、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。
バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スタンバイ時にバッテリが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずすときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。
ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。
従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**
データを消去するためには、以下の方法があります。

- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOサポートページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

索引

* 別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

【ハ行】

【マ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【B】

【C】

【F】

【I】

【L】

【V】

【W】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "PetaMap"および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、クウジット株式会社の登録商標です。
- 「PlaceEngine」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Centrino、Centrino Inside、Intel Viiv、Intel Viiv ロゴ、Intel vPro、Intel vPro ロゴ、Celeron、Celeron Inside、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Viiv Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Inside は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporationの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Outlook、PowerPoint、Office ロゴ、Encarta、Encartaロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard(TM)はMultiMediaCard Associationの商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、Lightroom、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) Sonnox Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc. Copyright (C) QSound Labs, Inc. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、VAIOを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

VAIOの最新サポート情報を提供

VAIOサポートページ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは「VAIO 電子マニュアル」をご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://sony.jp/vaio/myvaio/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とVAIOの各種サービスをご覧いただけます。

VAIOの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://sony.jp/vaio/

VAIOのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

電話番号はお間違いのないようご注意ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」

(0120) 36-3838（サンロク サンハチサンハチ）

(フリーダイヤル)

※ VAIOカスタマー登録がお済みではないお客様、携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、(0466) 32-8912(通話料お客様負担)

受付時間

平日：9時～ 18時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

(365日年中無休)

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

※ これらの電話番号は本製品専用の番号となります。

- **フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。**
- **VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。**
- **お電話の前に本機の型名をご確認ください。(保証書または本機IDラベルに記載されています。本機IDラベルについては、本機のキーボード右上をご覧ください。)**

お電話でのお問い合わせについて、詳しくは「VAIO 電子マニュアル」の「電話で問い合わせる」をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク

(0466) 38-1410（ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ）

受付時間

平日：9時～ 20時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

(年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。)

有料サービス

My VAIO(http://sony.jp/vaio/myvaio/)では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ セミナー・個人レッスン

VAIOの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制できめ細かく学べる各種セミナーやご自宅でじっくり学べる訪問個人レッスンをご用意しています。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート(初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など)を行うサービスです。

※ このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO(http://sony.jp/vaio/myvaio/)をご覧ください。

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「使い方相談窓口」
電話番号（0120）36-3838

※本製品専用の番号となります。
※フリーダイヤルをご利用になるには、VAIOカスタマー登録が必要です。
※VAIOカスタマー登録がお済みのお客様には、VAIOご購入日から1年間、
「使い方相談窓口」でのサポートを無料でご利用いただけます。
※お電話の前に本機の型名をご確認ください。

VAIOサポートページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://sony.jp/vaio/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

4-154-080-**01** (1)